

富士トランスデューサ スローパルストランスデューサ

WH7SP

UL File No.E206961

スローパルストランスデューサは、ON-OFFパルスおよび電圧パルス信号を直流の電圧・電流信号に変換するとともに入・出力絶縁を行います。

■特長

- 補助電源はAC85～264V、DC24V、DC110Vを選定でき、耐圧AC2000V 1分間、4ポート絶縁です。(第1・第2出力間はAC1000V 1分間)
- 第1出力信号はパソコンローダWH7PDにて変更することが可能です。(電圧⇄電流の変更は不可)

■用途

- 各種流量計と組合せ流量制御
- ロータリエンコーダと組合せ各種自動機および風力等監視
- パルス発信器・コントローラと組合せ回転機速度制御

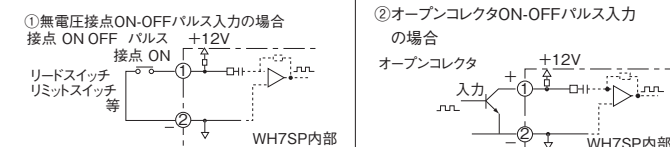
■仕様

形式	WH7SP
絶縁方式	フォトプラ絶縁
基準精度	±0.1%
温度特性	±0.15%/10℃
応答時間	0.5s+入力周期の2倍(0→90%)
シャットダウン周波数	入力周波数の約5%
入力信号	ON/OFF リレー 0Hz～50Hz(パルス幅10ms以上) パルス オープンコレクタ(NPN) 0Hz～10kHz(OFF時約12V;ON時約3mA) 直流電圧パルス 0Hz～10kHz(デューティ比20～80%ただしパルス幅50μs以上2V ^{PP} ～50V ^{PP} ※1(P-Pとはピークtoピークのこと) 交流電圧入力 50Hz～100kHz(2V ^{PP} ～50V ^{PP})
第1出力信号 (負荷抵抗)	電圧 0～5V、0～10V、1～5V (1kΩ以上)(2kΩ以上)(1kΩ以上) 電流 0～20mA、4～20mA (750Ω以下)(750Ω以下)
第2出力信号 (負荷抵抗)	電圧(DC) 1～5V(1kΩ以上) 電流(DC) 4～20mA(350Ω以下) 伝送出力※ RS-485、Tリンク
調整	ゼロ調整範囲:約-5～+5% 調整器(WH7AJ)使用→第1出力のみ調整可能 スパン調整範囲:約95～105% パソコンローダ(WH7PD)使用→第1,第2出力共調整可能
絶縁抵抗	100MΩ以上(DC500V)
耐電圧	入力-出力-電源-大地間 AC2000V(1分間) 第1出力-第2出力間 AC1000V(1分間)
補助電源	AC AC85～264V、50/60Hz DC DC24V±10%、DC110V±10%
消費VA、消費電流	AC100V時 約5VA(約5.5VA) [()内はWH7PD接続時を示す] AC200V時 約7.5VA(約8VA) DC24V 約120mA(約140mA) DC110V 約50mA(約55mA)
使用温度・湿度範囲	-5～+55℃ 90%RH以下(結露なきこと)
質量	約150g

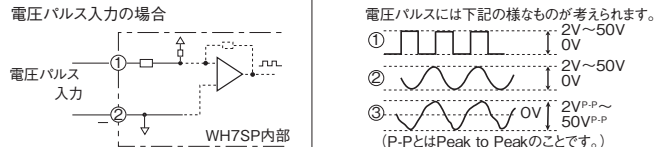
※1 RS-485のアドレス設定はパソコンローダWH7PDにて行います。

■入力回路図

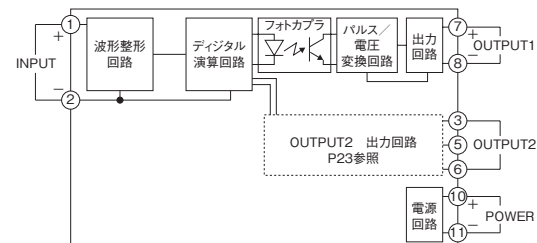
1.ON-OFFパルス入力回路



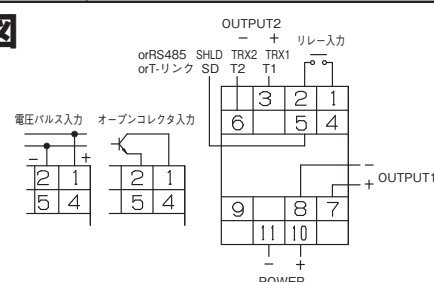
2.電圧パルス入力回路



■ブロック図



■外部接続図

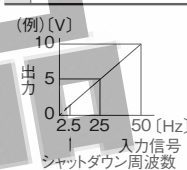


UL 取得は補助電源 DC24V 品のみです。

■形式 (=商品コード)

WH7SP-□□□□1	設計順位
入力信号	補助電源
10 リレー(0.01Hz～50Hz)指定	0 AC85～264V,50/60Hz
20 オープンコレクタ(0.01Hz～10kHz)指定	3 DC24V±10%
30 直流電圧パルス(0.01Hz～10kHz)指定	4 DC110V±10%
40 交流電圧(50Hz～10kHz)指定	
第一出力信号	第二出力信号
A DC1～5V	A DC1～5V
B DC0～5V	H DC4～20mA
C DC0～10V	V RS485伝送出力
H DC4～20mA	X Tリンク伝送出力
P DC0～20mA	Y なし

※入力周波数をご指定ください。
周波数はパソコンローダWH7PDで変更することも可能です。
(注)シャットダウン周波数について
入力周波数がフルスケールに対して過小になると出力のリップルを除去しきれなくなります。そこで入力周波数(フルスケール)の約5%以下で強制的に0出力としています。
その時の周波数をシャットダウン周波数といいます。
このシャットダウン周波数はパソコンローダWH7PDにて2%～10%の範囲で調整可能です。



■外形寸法図 (単位: mm)

